

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

SARS-CoV-2によるパンデミックが夜尿症・昼間尿失禁患児の心理的QOLに与えた影響

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年4月から2023年4月の間に、昭和大学藤が丘病院小児科を夜尿症または昼間尿失禁を主訴に受診した5歳～15歳までの患者さん

2. 研究目的・方法

研究目的

2019年末に初めて報告された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックは、世界中の人々の生活を一変させました。日本でも、感染拡大を防ぐため2020年3月初旬、全国の学校が一斉に臨時休校となり、学校再開後も登校せずに自宅で授業を受けられるオンライン授業が導入され、登校ができるようになった後もマスクの着用や給食時の黙食、様々な学校行事が中止になったりするなど、COVID-19による子どもたちの身体・精神への影響は多大でした。一方で、夜尿症や昼間尿失禁がある子どもたちは、自尊心や心理的、社会的な生活の質(QOL)の低下をきたすことが以前より知られていました。そのような子どもたちが、COVID-19流行によりどのような心理・社会的なQOLが変化したかは調査されていません。

そこで今回、受診時に記載していただいた質問票の結果を解析することで、COVID-19流行前後での心理的变化が起きていたかの評価を検討したいと考えています。

方法

夜尿症、昼間尿失禁の通常診療として行った問診、質問票を用いて得られた既存の情報を収集し、統計学的に解析します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年3月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

夜尿症、昼間尿失禁の通常診療で初診時に行う問診、質問票を用いて得られる以下の情報と項目
患者背景（年齢、性別、生年月日、夜尿症のタイプ（単一症候性または非単一症候性）、治療歴、PedQL
の記入内容

5．外部への試料・情報の提供

該当しません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院小児科 渡邊常樹

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院小児科

氏名：渡邊常樹

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000(代表) 内線 7804